

横断歩道マナーアップ運動の実施

～交通ルール・マナーを守って事故防止～

【道路横断中の交通事故死者数】（R6.1～10月末）

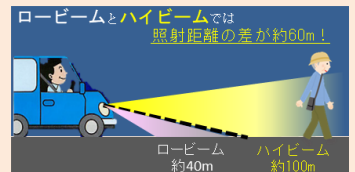
- ・歩行中死者33人中、18人が道路横断中！
ドライバーからみて
11人が右から左に横断、7人が左から右に横断
- ・横断中死者の約8割が高齢者
- ・16時から20時までの間に多発



【ドライバーの皆さんへ】～歩行者の優しい安全運転を～



- ・交差点に集中し、前後の交差点付近（交差点から30mの範囲）に注意を！
- ・夜間は、ヘッドライトが照らす範囲外は極端に周辺が把握しにくいことに注意！
- ・高齢者は、視野が狭くなり周辺状況（車との距離や車の速度）を読み取る機能が低下
- ・横断歩道では歩行者の通行を優先しましょう
横断歩道の手前では減速し、歩行者がいるときは必ず停止を！
横断歩道やその直前で車両が停まっているときは、通過前に一時停止を！
- ・早めにライトを点灯、ハイビームを効果的に活用！
視界が悪くなる夕暮れなどは早めのライト点灯を！
道路や対向車両の状況に応じたハイビームの効果的活用を！



【歩行者の皆さんへ】～自らの安全を守る交通活動を



- ・交通弱者と言われる子供や高齢者の歩行者でも、状況により“加害者”となりえます
- ・横断歩行中死亡事故の歩行者が加害者になる原因は“信号無視”が最多です
- ・横断歩道を渡る前には、左右から車が来ていないか確認しましょう！
- ・近くに横断歩道がある場所では、横断歩道を利用しましょう！
「止まって・見て・合図を出して・待って」から渡る！
「斜め横断」「車の影からの横断」「歩きスマホ」も危険！
- ・「信号無視の横断」は絶対にやめましょう！
青信号でも左右や周囲の安全をしっかりと確かめながら横断を！
- ・夕方以降は、明るい色の服装・反射材を着用しましょう！

